

# 日本人学校等で働きたい人を募集しています!

日本人学校の子供の学びに向き合った経験は、先生の資質・能力の向上にも繋がることがわかりました!

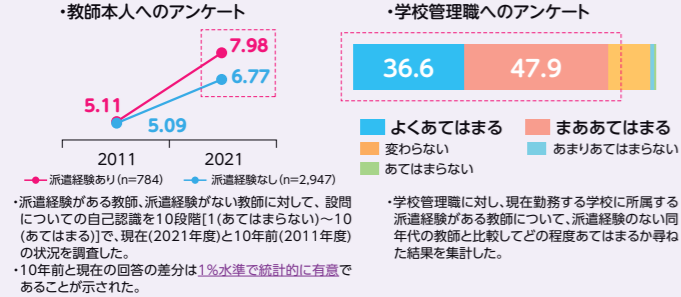
出典：「在外教育施設に派遣された教師に係る派遣効果に関する調査・分析」  
※ 文部科学省と総務省が共同で実施。委託先は三菱UFJリサーチ&コンサルティング



## 1 多文化・多言語環境における指導能力

海外で母語でない環境で学び、**マイノリティとして「壁」にぶつかった経験**。日本以外で生まれ育った子供など多様なバックグラウンドを持つ子供たちに触れた経験は、**多文化・多言語環境における指導能力**の伸びに繋がります。

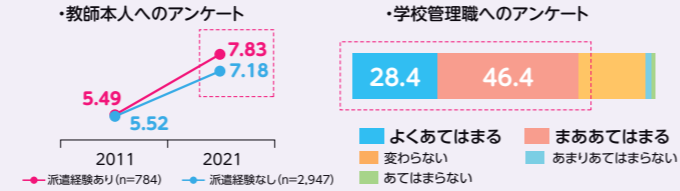
児童生徒の文化的な多様性に適応させた指導をする能力がある



## 2 カリキュラム・マネジメント能力

日本のカリキュラムと現地ならではの特性を**アレンジした授業づくり**の経験や、全国各地の派遣教師や多様なバックグラウンドを持つ子供たちとの交流は、**カリキュラム・マネジメント能力**の伸びに繋がります。

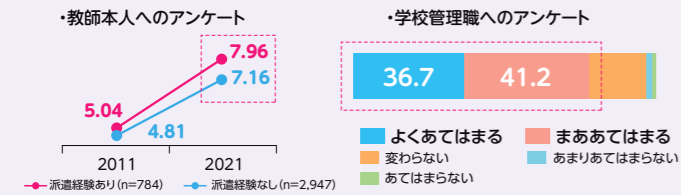
児童生徒や地域の実態を踏まえつつ、育成すべき資質・能力を念頭に置いた指導計画を作成し、効果的な指導を行うことができる



## 3 学校の管理・運営能力

現地ならではの経験や、若い年齢から学校の中心となって働く経験は、**学校の管理・運営能力**の伸びに繋がります。**将来の管理職**としての業務にも生きてきます。

学校組織における中心的な役割を担うとともに、**教育の指導力・対応力の向上**に対して適切に**指導・助言**を行うことができる



### 派遣経験者の声

**八神 進祐先生** (派遣: プラハ日本人学校 令和6年度帰国) 帰国後 中学校教諭

異文化の中で子どもたちと向き合い、現地の教育環境に応じて実践してきた経験が、帰国後の教育活動の視野を大きく広げています。

- ・研究主任として「チェコと日本の文化を学び、自己表現力を育む子どもたちの育成」をテーマに掲げ、現地校との交流を推進し、ビデオレターや訪問交流を通じて、互いの文化を尊重しながら思いを伝え合う学びを実現しました。子どもたちが自分らしく世界とつながろうとする姿は、国際理解教育の本質を示すものであり、教育の大きな可能性を感じた瞬間でもありました。
- ・これらの経験により、教育内容を子どもや地域の実態に応じて柔軟に構想する力が高まりました。帰国後は、これらの実践で得た知見を生かし、子どもたちが多様な価値観に触れながら視野を広げられるよう努めています。
- ・赴任国での教育活動を充実させるためには、多様な立場の人々との協働が不可欠です。現地校の教師や外部機関と連携しながら交流活動を進める中で、相手の意図を丁寧にみ取り、合意形成を図る姿勢の重要性を学びました。
- ・現在は、勤務校でその学びを生かすだけでなく、さまざまな研究発表の場で派遣経験から得た気づきや実践を積極的に共有しています。



ボゴタ日本人学校 現地校での雀踊り披露



ポート・オブ・サクラメント補習授業校 毎年5月子供たちの健やかな成長を願って掲げられる鯉のぼり



マニラ日本人学校 現地ミュージアム見学(生活科学習)



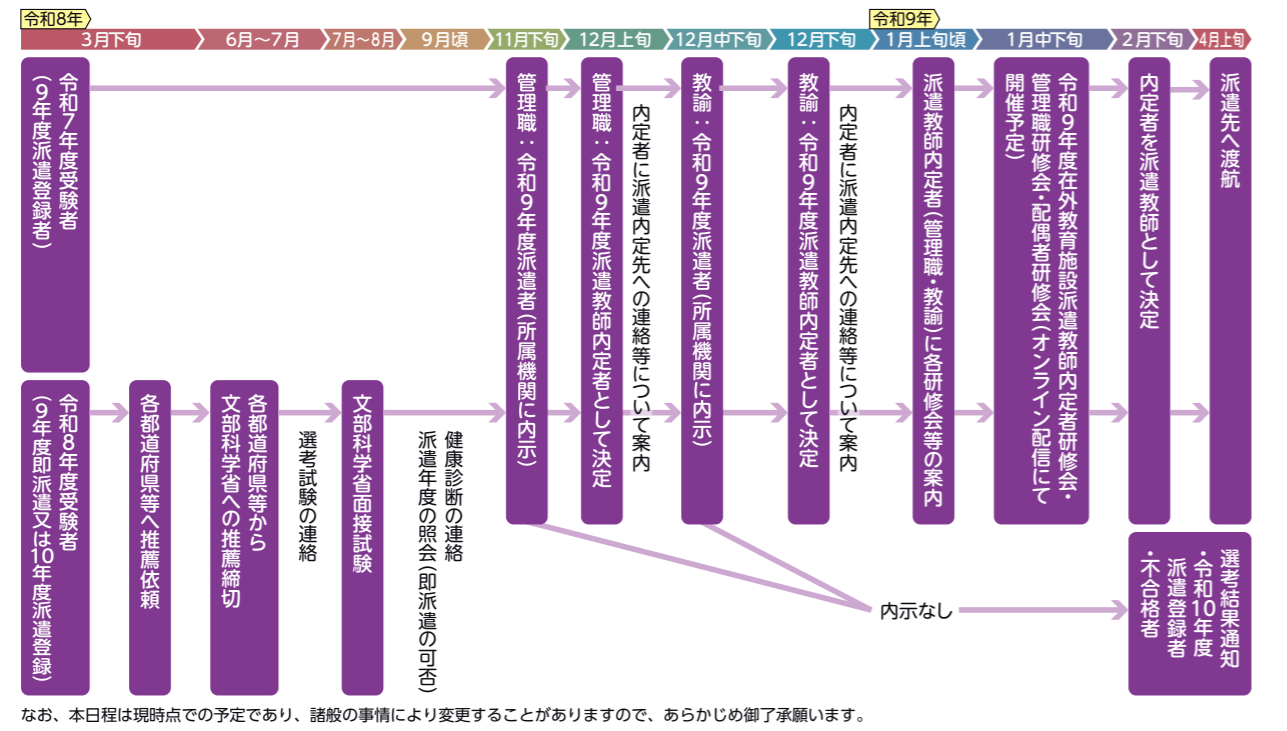
シンガポール日本人学校クレメンティ校 4年生 現地小学校(ヘンリーパーク小学校)と交流活動

# 海外で学ぶ日本の子供たち

「在外教育施設」での学び×グローバル人材&グローバル教師

2026年版

## 令和9年度及び10年度派遣教師の選考・研修日程等



お問い合わせ先 ●文部科学省総合教育政策局国際教育課 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL03-5253-4111 (内線3562) ●在外教育施設等に関するホームページ「CLARINETへようこそ」 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/clarinet/main7\\_a2.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/main7_a2.htm)



広州日本人学校 開校30周年記念式典 全校写真



ヨハネスブルク日本人学校 野外学習活動(プライデキャニオンにて)



ミュンヘン日本人学校 ミュンヘンタイム クリスマスマルトの秘密を探す 在外教育施設重点支援プラン



リヤド日本人学校 キングサワード大学との交流